

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 徳島香川における美しい自然とおもてなしの心を活かした広域観光活性化計画（重点 ）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。（計画名：国土形成計画（全国計画）、国土形成計画（広域地方計画）、社会資本整備重点計画、環境基本計画）	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	徳島香川における美しい自然とおもてなしの心を活かした広域観光活性化計画（重点）												
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	香川県												
計画の目標	<p>徳島県と香川県は、海・山・川など豊かな自然と土地の人々の温かなおもてなしの心に触れることを通して、癒しを実現できる場所である。</p> <p>その2県では、四国圏広域地方計画の広域プロジェクトである「美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」に基づき、広域観光周遊ルートを形成している。中でも、四国ツーリズム創造機構が実施主体となり設定した広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」の周遊ルートのひとつである「四国スピリチュアルコース」は、遍路文化と古き良き原風景・食・体験をゆったりと堪能するスピリチュアルな島の旅をコンセプトに、徳島県徳島・鳴門地区から、香川県東讃地区・小豆島地区・中讃・西讃地区を経由し、徳島県にし阿波地区にいたるエリアを周遊ルートとし、古き良き原風景・食・体験を堪能できる滞在型観光・体験型観光の促進に努めている。また、この周遊ルートを形成する上で、四国が誇る風景や街並み等の景観から選定されている「四国八十八景」の環境整備にも合わせて取り組んでいる。</p> <p>本計画では、この周遊ルート上の「四国八十八景」のみならず様々な有形無形の観光資源におけるより一層の魅力向上と合わせて、観光周遊に必要な基盤整備事業を実施することで、更なる観光振興による地域活性化の推進を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,700	A	1,700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R元		R11末
1	<p>【徳島県・香川県 共通目標】 拠点施設を有する市町への観光入込客数529万人（R元）から556万人（R11）に増加（27万人（5%）の増加）</p> <p>【徳島県・香川県 共通目標】 拠点施設を有する市町への観光入込客数の増加</p> <p>（観光入込客数の増加割合）=（評価時点の年間観光入込客数 - R元の年間観光入込客数）/（R元の年間観光入込客数）</p>	529万人	万人	556万人
2	<p>【香川県 単独目標】 西讃地域の観光入込客数298万人（R元）から313万人（R11）に増加（15万人（5%）の増加）</p> <p>【香川県 単独目標】 西讃地域の観光入込客数の増加</p> <p>（観光入込客数の増加割合）=（評価時点の年間観光入込客数 - R元の年間観光入込客数）/（R元の年間観光入込客数）</p>	298万人	万人	313万人
3	<p>【香川県 単独目標】 東讃地域の観光入込客数161万人（R元）から169万人（R11）に増加（8万人（5%）の増加）</p> <p>【香川県 単独目標】 東讃地域の観光入込客数の増加</p> <p>（観光入込客数の増加割合）=（評価時点の年間観光入込客数 - R元の年間観光入込客数）/（R元の年間観光入込客数）</p>	161万人	万人	169万人
4	<p>【香川県 単独目標】 香川県の拠点施設間や拠点施設と高速道路のICを結ぶ観光ルートにおける1日あたりの総アクセス時間を80時間・台/日（R11）短縮</p> <p>【香川県 単独目標】 走行時間</p> <p>（アクセス時間の短縮効果）=（要素事業による短縮時間×日交通量（R3センサス交通量））</p>	0時間・台/日	時間・台/日	80時間・台/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0%となる。○観光入込客数の当初現況値は新型コロナウイルス流行前（R元）の値とする。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	(主)大野原川之江線 五郷工区	現道拡幅 L=0.30km	観音寺市						700	-	
	A11-002	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	(一)紫雲上山線 肥地 木工区	現道拡幅 L=1.00km	三豊市						300	-	
	A11-003	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	(一)紫雲上山線 伊砂 子工区	現道拡幅 L=0.46km	三豊市						200	-	
	A11-004	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	(一)紫雲上山線 紫雲 出山工区	現道拡幅 L=0.40km	三豊市						300	-	
	A11-005	道路	一般	香川県	直接	香川県	都道府 県道	改築	(一)大串鴨部線 小田 工区	現道拡幅 L=0.65km	さぬき市						200	-	
												小計						1,700	
												合計						1,700	

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)

